



みんないっしょ ずーっといっしょ



宝塚第一小学校区まちづくり協議会

VOL.54

2024年7月1日発行
編集・発行 広報委員会
連絡先 一小宝梅ハウス
0797-57-9060
宝塚市宝梅 1-12-43



一小校区今昔物語



明治～大正



宝来橋



昭和8年 渡り初め

宝塚大橋



市制70周年
一小校区の風景も大きく
変わりました
さて人の心は・・・？



大正～昭和初期



阪急電車

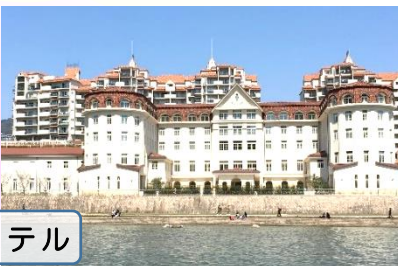


昭和29年

宝塚第一小学校



大正15年頃



宝塚ホテル



縁を結ぶ学校 ～私的一小今昔物語～

宝塚市立宝塚第一小学校 校長 横野 悟

私が宝塚第一小学校長を拝命して4年目。2年後に90周年を迎える今、沿革史に描かれている一小の変遷に感動を覚える。開校の昭和11年度は300人程の児童数であったのが、昭和25年度に1000人越えてから令和6年度の現在まで1000人を切る年度はほぼない。現児童から「お父さんもおばあちゃんもこの学校だった」との声を耳にする。一小の歴史の深さとこの地域・学校への愛を感じるばかりである。

振り返れば20年前より、私もこの学校に関係があった。文部科学教官時代に総合的な学習の一環でのアンケート依頼をこの一小の6年生対象にしたことがある。歴代校長の写真に囲まれて校長室で打ち合わせをした。まさか自分がこの校長の席に座るとは想像もしなかった。三代続けての在籍や私のように導かれてここにという「一小の魅力」がこの先、90年、100年と続いていくのだと思う。

この寄稿に寄せて、改めて一小の魅力と歴史、そしてそれをお預かりする校長としての重みを感じる。ここを卒業する子どもたちにとってふるさとである一小、これからの発展を願うばかりである。





◆◆◆ 2024年度 定期総会 ◆◆◆



会長挨拶

宝塚第一小学校区まちづくり協議会
会長 山本 敏晴

昨年度は、アフターコロナを見据えて新しい「一小校区まちづくり協議会」を目指しました。10数年ぶりに会則の見直しを行い、自治会・学校園を中心とした地域の皆様と共にまちづくりを推進する仕組みづくりに取り組みました。おかげさまで皆様のご協力もあり、大小様々なイベントや市との協議が実現できました。

4年前に「住民が住み続けたいまちづくり～持続可能なまちをみざして～」を基本理念に定めています。今年度はそれを更に一歩前に進めて地域の抱える課題に向き合い、世代間を超えた交流活動なども行ってまいります。

少子高齢化が進む中で一小校区はコンパクトシティとして近年、子育て世代に支持されてきました。一方、人口増に伴う宝塚南口駅周辺の朝夕の交通渋滞や一小的の過大規模など地域課題も目立つようになりました。

地域の皆様をはじめ関係者の方々との協働や情報共有を通じて地域全体の発展に資する取組みを進めてまいります。よろしくお願い申し上げます。



2024年度 役員

(役名)	(氏名)	(住所)
会長	山本 敏晴	(寿楽荘)
副会長	平田 本江	(紅葉ガ丘) ◆
副会長	溝田 康英	(梅野町) ◆
副会長	坂本 敏	(武庫山1) ◆
会計	上田 育代	(長寿ガ丘) ◆
会計	大槻 恵子	(長寿ガ丘) ◆
書記	溝田 康英	〈副会長兼務〉
書記	三木 美佐江	(宝松苑)
広報委員長	平田 本江	〈副会長兼務〉
宝梅ハウス館長	森園 かおる	(武庫山2)

(役名)	(氏名)	(住所)
安全部会長	荒川 芳郎	(武庫山1)
環境部会長	小宮 真佐代	(中州2)
福祉部会長	喜多河 恭子	(紅葉ガ丘)
地域交流部会長	塩川 恵造	(逆瀬川2)
子育て部会長		(子育て部会は休会) ※
会計監査	三木 さくら	(武庫山2)
会計監査	吉岡 道夫	(武庫山2)

以上 14名 (2024年5月現在)

2024年度 運営審議会委員

総会に出席のみなさん

(氏名)	(所属自治会)
水口 薫	(中州)
棚橋 博	(宝塚南口)
庵治川 哲哉	(新寿楽荘)

以上 3名
(2024年5月現在)



※ 子育て部会

子育て部会は、今年度は休会とし、部会事業は福祉部会担当事業として(子育てサロンなど)引き続き開催いたします。今後、青少年育成を視野に入れた活動の準備期間とさせていただきます。

安全部会



安全部会は、防災と安全に対する啓発活動を行っています。子どもも楽しく学べるゲームもあります。今年度は11月に宝梅ハウスで火災時の避難訓練も予定しています。

防災訓練や安全教室の開催を安全部会とコラボしませんか?



環境部会

環境部会は、今年度以下の事業を展開します。

- ① 寄せ植え講習会
11月にグリーンアドバイザーを講師に迎え、季節の花々の寄せ植えを通して地域住民同士のコミュニケーションを図る
- ② 校区内花壇グループへの支援活動
- ③ 校区内公園マップの作成
令和3年から進めてきた調査を基に、公園の利用を促すためのマップを作成する
- ④ 環境に関する勉強会の開催



花と緑のネットワーク 花壇



地域交流部会

地域交流部会では、今年度も地域資源発掘をテーマにしたまち歩き、地域ネットワーク会議の開催を予定しています。



地域の魅力再発見まち歩き～丁字ヶ滝～

6/1(土)参加者20人でまち歩きを実施しました。一小校区は都会と自然が共存する美しい街です。JR宝塚駅からランランバスに乗り、長寿ガ丘のバス停から妙法寺仏舎利塔を目指しました。塔の上から校区を見渡す絶景に感動しました。

長寿ガ丘を下り、武庫川の「見返り岩」の裏にひっそりと流れる「丁字ヶ滝」へ。落差10メートルの滝は、明治期の観光パンフレットに、「宝塚八景」として紹介され、お茶が飲める茅葺の庵もありました。参加者から「時代を超えて心が癒されるパワースポット」と感想が寄せられました。



丁字ヶ滝



仏舎利塔



ランランバス



「ランランバスを守る会」から乗車記念品を頂きました。

福祉部会

サロン交流会

福祉部会は、子どもから高齢者・障がい者、異なる立場の方がお互いに支えあい、住み続けられる地域づくりをめざして活動をしています。

今年度も未就学児親子対象の子育てサロン、福祉勉強会、地域サロン、福祉バスツアー、福祉課題を共有して解決の糸口を探るネットワーク会議などを計画しています。



夏休み工作教室



地域福祉ネットワーク会議

みなさまにぜひご参加いただき、まずは顔の見える関係づくりから地域のつながりの場をもちたいと思っています。

今後の予定

- 7/23(火) 夏休み工作教室
- 10/19(土) 新やぐらお披露目
- 10/27(日) 宝梅ハウスまつり
- 11/9(土) 宝梅ハウス避難訓練
- 11/16(土) Uganまつり



子育てふれあいサロンのご案内

毎月1回、未就園児と保護者を対象に、相互交流や情報交換、息抜き場として気軽に集える「子育てふれあいサロン」を開催しています。どうぞ気軽に遊びに来て下さい。(無料です)

日時：毎月第2金曜日 10～12時
場所：一小宝梅ハウス 2階
(宝梅1丁目12-43)

7月のみ7/5 10時から
七夕の笹飾りを作ります



宝梅ハウス利用料金表

集会室	利用時間帯	A	9時～12時	利用時間帯は ご相談に応じます
		B	13時～16時	
		C	17時～20時	
集会室	1階 (8～10名)	600円		ハウス運営協力金 100円を含みます
	2階 (24～40名)	1,100円		
印刷機	マスター(原紙)		100円/1枚	
	片面 (白紙)	A 4・B 4	3円/1枚	
		A 3	5円/1枚	
	両面 (白紙)	A 4・B 4	4円/1枚	
A 3		6円/1枚		
コピー機	白黒	片面	B5・B4・A4・A3	10円/1枚
		両面	B5・B4・A4・A3	20円/1枚
	カラー	片面	B5・B4・A4・A3	50円/1枚
		両面	B5・B4・A4・A3	100円/1枚
ラミネート加工	A 4		25円/1枚	
	A 3		35円/1枚	
プロジェクター	ハウス内利用		200円	
	持ち出し(2泊3日)		1,000円	

宝梅ハウスは近隣自治会をはじめ各種団体、サークル活動、ふれあいサロン等で楽しく学び活動する場所として広くご利用いただいています。昨年より取り組んでいる「宝梅中学校の定期考査前の自習室開放」も浸透してきました。また、5月からは新たに「学研教室」や「宝塚うんどう教室」も開催されています。毎週水曜日の「くつろぎカフェ」、秋の「宝梅ハウスまつり」も継続実施中です。皆様に親しまれる宝梅ハウスでありたいとの思いで日々活動しています。

ご利用をお考えの方はご相談ください。

月曜～土曜日(祝日は除く) 10時～12時 担当者在室

問合せ **0797-57-9060**



<マンション探訪 Vol.1>

グランプレイズ宝塚南口

ベランダから見た風景

一小校区の人口の半数はマンションの住民だといわれています。今回ご紹介するのは、築24年のグランプレイズ宝塚南口です。大黒柱、ヒノキの腰板パネル、24時間換気システム、浄水器が標準装備という健康マンションの走りでした。南口駅から徒歩3分で一小校区というのも売りでした。自治会活動がないというのもマンションを選んだ理由です。

建った当時は宝塚の花火大会が和室から寝転んでみるのができ、阪急電車が朝日の中を走る姿を嬉しく眺めていました。今は、周辺にたくさんのマンションが建ち並び、花火は建物の陰に、電車も隙間から見えるくらいになってしまいました。

当初からの住人も高齢になり、介護が必要な方も増えました。11階建てですが、エレベーターは1基しかなく、改修工事の時は5日間も止まってしまう、買い物だけでも大変でした。災害時の復旧の事を考えると、情報をどこからもらうのか?高齢者のサポートや避難はどうするのか?など、課題はたくさんあります。そういったことでも、地域とつながり、街づくりに参加していくことで、自分たちも含めた地域が助かるような仕組みづくりの必要性を感じています。マンション住まいの皆さんは管理組合に入っておられると思いますが、防災についても興味を持つと、地域とつながる必要性も見えてくると思いますよ。また、良い取り組みがあれば、教えていただきたいと思います。自分たちで安心を築きながら、夢と希望の宝塚に住める幸せを続けていきたいですね。

